

令和2年度 第2学期始業式あいさつ

おはようございます。短い夏休みも無事に終わり、いよいよ、今日から2学期となります。今年は7月下旬に、ようやく梅雨明け宣言が出されました。その後は連日猛暑が続き、感染症や熱中症対策で大変な夏だったと思います。その中で皆さんが、無事に今日登校できたことは大変うれしいことです。

先ほど生徒代表の4人の皆さんが、2学期の目標を述べてくれました。ありがとうございます。みなさんもそれぞれの目標をもって本日を迎えているとことと思います。

2学期は1年でもっとも長い学期です。2学期を充実させることは、今の学年を充実させることとなります。新しい生活様式に慣れ、充実していた学期だったと12月24日の終業式で言えるように過ごしていきましょう。

さて、昨年2学期の始業式の日アンジュラアキさんの手紙という歌の話をしてしましたが、2・3年生は覚えているでしょうか。アンジュラアキさんが15歳のときに、彼女自らが未来の自分へ宛てて書いた手紙という歌についての話でした。中学生の頃は、体と心の成長が急激に進み不安定になることがあるという内容でした。

今年は夏休みが遅く始まり、2学期が早く始まりました。また、例年の夏とは違い、外で思い切り遊んだり、自然にふれあったりすることもままならず、また、人と会う機会も極端に少なかったのではないかと思います。そのため、皆さんの中には、気分転換ができず、体調を崩したり、悩みを解決できないまま、今日を迎えた人もいるかもしれません。

昨年度と同じ繰り返しになりますが、皆さんの年頃は、心と体の成長が著しく、自分で自分をコントロールできなくなることもあります。また、些細なことに悩んだり、悲しくなったり、落ち込んだりすることもあります。あとから振り返ると、なんであることにくよくよしたんだろうと思うこともあります。中学生の頃は、そんな時期なのだと思います。

その事をまず知っておいてください。いろんな事があっても思い詰めないでください。1学期の終わりにレジリエンス（折れない心）の話をしました。世の中に出ると答えが一つではないことが多くなります。いつも正面からぶつかることが正しいとも限りません。時には迂回路に回ったり、一歩足を止めたり、休んだりすることも必要です。そして、悩みは誰かに相談（聞いてもらう）することで解決することも多いものです。是非、友達や家族、先輩や先生方に相談してください。そして、自分を否定しないで大切にしてください。

そのことを2学期の当初に、皆さんに改めてお願いしたいと思います。2学期も元気に過ごしていきましょう。

令和2年8月24日
校長 土井 智喜